

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-226	高等学校	国語	現代の国語	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	現国 050-901	現代の国語 改訂版		

1. 編修の基本方針

- ・主体的・対話的で深い学びをととして、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的に考える力・他者に共感する力・想像する力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高めることができるよう配慮する。
- ・言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけるとともに、生涯にわたって読書に親しむ態度を養い、他者や社会に対する関心を育むことができるよう配慮する。
- ・教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、現代社会における多様な話題・題材を提示して生徒の興味・関心を喚起し、言語活動をととして生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 言葉を学ぶ 言葉のなかに生まれる ■言葉で生きていく ことばと思考	・言葉の役割や働きについて理解を深めるため、「言葉のなかに生まれる」「■言葉で生きていく」「ことばと思考」を収録した。(第1・5号)	pp. 7-20
2 主張をとらえる 文章の要点をつかむ 水の東西／「動」への変化	・論理的に物事を考える力を育み、具体と抽象の関係、対比されている事柄どうしの関係などに対する理解を深めるため、「水の東西」「動」への変化」を収録した。(第1号)	pp. 21-34
3 的確に伝える 伝わるように話す わかりやすく書く	・情報を、わかりやすくて的確に伝えられるように話す力や、書く力を養う教材を位置づけた。(第3号) ・情報を的確に伝えるための工夫について述べた文章「設計図を最初に渡せ！」を導入として位置づけ、学習への意欲を高められるよう配慮した。(第3号)	pp.35-48
4 意見を示す 発想を広げる 意見を書く	・自分の意見を持ち、それを論理的に示す力を養うことができるように、他者と協力して発想を広げたり、主張と根拠を明確にして自分の意見を書いたりする教材を位置づけた。(第2・3号) ・話し合いにおける自己の考えの変化について述べた文章「変わることをおそれない」を導入として位置づけ、学習への意欲を高められるよう配慮した。(第3号)	pp.49-66
5 論理をとらえる 文章の論理をとらえる 動的平衡としての生物多様性 ／自然と人間の間をとおして考える	・論理的に物事を考える力を育み、主張と根拠の関係、帰納的・演繹的な推論などに対する理解を深めるとともに、自然や環境への興味・関心を高めるために「動的平衡としての生物多様性」「自然と人間の間をとおして考える」を収録した。(第1・4号)	pp.67-84
6 効果的に伝える 工夫して話す 興味を引く紹介文を書く	・他者へ魅力的に情報を伝える力を養うことができるよう、スピーチをしたり、紹介文を書いたりする教材を位置づけた。(第2・3号) ・情報を効果的に伝えるための工夫について述べた文章『伝える』の先にあるもの」を導入として位置づけ、学習への意欲を高められるよう配慮した。(第3号) ・同じ本について紹介した文章を比較して読み、それぞれの表現の工夫について考えるための素材として、『家守綺譚』評」を学習活動の参考として位置づけた。(第2号)	pp. 85-100

7 資料を解釈する 資料と文章を関連づけて読む 「安くておいしい国」の限界／ 「人新世」における労働 統計資料をもとに意見を書く	・複数の資料や情報を関連づけながら読み取る力を育むため、『安くておいしい国』の限界』『人新世』における労働』を収録した。(第1号) ・情報を取捨選択したり、資料を用いて適切に主張をしたりする力を養うことができるよう、統計資料に基づいた主張を書く教材を位置づけた。(第2・3号) ・グラフの種類や特徴についての理解を深め、自らの主張の根拠として活用できるよう、さまざまな統計資料を「課題」として掲載した。(第1号)	pp. 101-126
8 他者と交流する 理解を深める質問をする 気持ちを伝える通信文を書く	・目的や状況をふまえて、他者と適切に応答する力を養うことができるよう、インタビューをしたり、通信文を書いたりする教材を位置づけた。(第2・3号) ・コミュニケーションのありかたについて述べた文章「他者を理解すること」を導入として位置づけ、学習への意欲を高められるよう配慮した。(第3号) ・ミニインタビューをしたり、通信文を書いたりする学習活動の参考として、「インタビューの醍醐味」「いい質問とは何か?」「パン屋の手紙」を収録した。(第1・3号)	pp. 127-154
9 文章を比較する 文章を比較して読む 「美しさの発見」について／ 脳は美をどう感じるか／本当の 会話がSNSでできるか／自分の 情緒を押し殺さないために／空 気を読む／「個人」から「分 人」へ	・複数の資料や情報を関連づけながら読む力を育むため、『美しさの発見』について「脳は美をどうとらえるか」「本当の会話が SNS でできるか」「自分の情緒を押し殺さないために」「空気を読む」「個人」から『分人』へ」を収録した。(第1・2号)	pp. 155-186
10 他者を動かす 説得力のある資料をつくる 資料を用いて発表する	・他者に自分の考えを的確に伝え、説得する力を養うことができるよう、企画書を書いたり、資料を用いてプレゼンテーションを行ったりする教材を位置づけた。(第2・3号) ・プレゼンテーションにおける情報の伝え方について述べた文章「どう伝えるか」を導入として位置づけ、学習への意欲を高められるよう配慮した。(第3号) ・企画書を書く学習活動の参考として、「企画書『となりのトトロ』」を収録した。(第1・2号)	pp. 187-206
11 情報を吟味する 情報の妥当性を吟味して読む 贅沢を取り戻す／言葉について の新しい認識／感じる歴史 文章を読み取って主張を書く 展開をとらえて討論をする	・主張の根拠や引用の妥当性を吟味する力を育むため、「贅沢を取り戻す」「言葉についての新しい認識」「感じる歴史」を収録した。(第1号) ・他者の主張を的確にふまえて、自分の考えを主張する力を養うことができるよう、他者の文章を読み取って主張を書いたり、討論会を行ったりする教材を位置づけた。(第2・3号)	pp. 207-244
12 考えを深める 目的をもって読む 白／作業ロボットの悲劇／ 対話と共話 論点を共有して話し合う 課題をとらえ直しながらレポート を書く	・目的や問いをもち、主体的に文章を読む力を育むことをねらいとし、「白」「作業ロボットの悲劇」「対話と共話」を収録した。(第1・5号) ・問いを設定し、それを解決する力を養うことができるよう、結論を出すために話し合ったり、レポートを書いたりする教材を位置づけた。(第1・2・3号)	pp. 245-282

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点

- ・規約、条例、ポスター広告など、実用的な文章を掲載した「社会への視点」を2か所に設置し、学習内容と実社会とのつながりを意識できるよう配慮した。
- ・読書への関心を高められるよう、「読むこと」の著者紹介において、関連書籍を紹介する「著作案内」を設置した。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の活動が円滑に行われるよう、参考となる基礎的な情報を「豊かな言語活動のために」として資料編にまとめて設置した。
- ・幅広い知識や教養を身に付けられるよう、評論文などでよく取り上げられるテーマや語句について解説した「キーワード解説」を資料編に設置した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、担当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-226	高等学校	国語	現代の国語	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	現国 050-901	現代の国語 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

- ・主体的・対話的で深い学びをととして、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的に考える力・他者に共感する力・想像する力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高めることができるよう配慮する。
- ・言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけるとともに、生涯にわたって読書に親しむ態度を養い、他者や社会に対する関心を育むことができるよう配慮する。
- ・学習指導要領に示された教育目標への対応に配慮しつつ、現代社会における多様な話題・題材を提示して生徒の興味・関心を喚起し、言語活動をととして生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

●構成

- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域の教材を、目標に沿ってバランスよく取り入れつつ単元を構成し、基礎的な内容から発展的な内容へと段階的に進めるよう、全12単元を配置した。

●教材選択にあたっての配慮

- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、現実の社会において必要な国語の力を身につけられるよう、実社会・実生活と関係深い活動や資料を取り入れた多種多様な教材を配置した。
- ・「読むこと」では、現代に生きる高校生が知っておきたい新鮮で多様なテーマを取り入れつつ、論理的・批判的な思考力を高められるような教材を配置した。

●教材化の工夫

1 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材化

- ・教材冒頭に「ウォームアップ」「目標」「学習の見取り図」を配置し、学習内容を明確化できるようにした。
- ・教材中の「ワーク」をととして、その教材で身に付けたい基礎的な力を養い、その力をもとに、発展的な「課題」に取り組む構成とし、着実に学習の定着をはかれるようにした。また、末尾に「チェック」を設け、学習を振り返り、「目標」を達成できたか確認できるようにした。

2 「読むこと」の教材化

- ・教材冒頭に「ウォームアップ」「目標」「ワーク」を配置し、学習内容を明確化できるようにした。
- ・語句・漢字の学習に役立つ「語句・漢字」欄を見開きごとに配置。読み替えや同音異義語、対義語などの情報も充実させ、「学習のポイント」の「語句と漢字」欄とあわせて、漢字・語彙の学習に資するようにした。
- ・評論などを読み解く際に大切な語句を「キーワード」として示した。資料編の「キーワード解説」とあわせて語彙力の育成に資するようにした。
- ・「学習のポイント」には、その教材の内容理解を目的とした設問と、自身の表現活動にも資する設問「言葉と表現」を設置し、多様な力を育めるようにした。また、末尾に「チェック」を設け、学習を振り返り、「目標」を達成できたか確認できるようにした。
- ・生涯を通じた読書生活の充実に配慮し、各教材に「著作案内」を配置し、読書への意欲を喚起するよう工夫した。

●資料編の充実

- ・資料編には、「豊かな言語活動のために」「キーワード解説」を設置し、さまざまな学習場面で活用できる基礎的な情報をまとめて提示した。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容																該当箇所	配当 時数															
		知識及び技能									思考力・判断力・表現力等																							
											A 話すこと ・ 聞くこと					B 書くこと				C 読むこと														
(1)			(2)			(3)	(1)			(2)		(1)		(2)																				
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ				
1	言葉を学ぶ	○	○	○	○	○					○											○	○							p7～20	A:0.5 B:0.5 C:0 計1			
2	主張をとらえる				○	○	○	○		○																		○		○	p21～34	A:0 B:0 C:3 計3		
3	的確に伝える		○		○	○	○	○					○	○			○															p35～48	A:2 B:2.5 C:0.5 計5	
			○		○	○	○	○		○								○	○															
			○		○	○	○												○	○			○	○										
4	意見を 示す		○		○	○	○					○		○		○																p49～66	A:2.5 B:3 C:0 計5.5	
			○	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○												
5	論理をとらえる																												○		○	p67～84	A:0 B:0 C:3 計3	
6	効果的に伝える		○		○	○	○	○				○	○	○	○		○																p85～100	A:3 B:3 C:0 計6
			○	○	○	○	○	○				○							○	○	○		○											
7	資料を解釈する				○	○	○	○	○				○	○															○	○		○	p101～126	A:0 B:4 C:3 計7
			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○				○	○	○	○	○											
8	他者と交流する		○		○	○	○	○					○		○	○		○															p127～154	A:3 B:3 C:0 計6
			○	○	○	○	○	○											○	○	○		○											
9	文章を比較する				○	○	○	○	○																				○	○		○	p155～186	A:0 B:0 C:4 計4
10	他者を動かす		○	○	○	○	○	○	○				○	○					○	○	○	○			○								p187～206	A:3 B:4 C:0.5 計7.5
			○	○	○	○	○	○	○				○	○	○																			
			○		○		○												○	○	○	○		○					○		○			
11	情報を吟味する	○			○	○	○	○	○																			○	○		○		p207～244	A:3 B:4 C:3 計10
			○	○	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○											
			○		○	○	○	○	○				○	○	○	○	○																	
12	考えを深める				○	○	○	○	○	○																	○	○		○			p245～282	A:3 B:6 C:3 計12
			○		○	○	○	○	○				○	○	○	○	○																	
			○	○	○	○	○	○	○	○									○	○	○	○		○										
資料編	豊かな言語活動のために		○		○	○	○	○	○	○																							p283～303 p304～318	-
	キーワード解説／テーマと読書	○			○																													

A:20
 B:30
 C:20
 総計 計70